

2023 年度 社会学部 学位プログラムの評価 (2024 年 4 月 10 日 社会学部教授会承認)

社会学部のカリキュラムポリシーでは、学部の学位プログラムについて、以下の様に定め、定期的に評価・改善することになっている。

学位プログラムの評価は、卒業・進級判定、カリキュラムマップ、科目ナンバリング、GPA の活用、学修行動調査、「3つの力」の達成度調査、シラバス記載内容等の実態把握に基づいて総合的に行う。その際、担任制による学修指導の方法や成果及び国家試験対策プログラムの成果等を確認、改善する。

2023 年度の社会学部学位プログラムの評価を実施するにあたっては、評価に用いる定量的な評価基準(ベンチマーク)として6指標を設定した。

2023 年度の各評価指標の状況と、その改善策等は以下の通りである。

1. 卒業判定・進級判定の結果

2023 年度卒業判定者 61 人のうち、57 人が卒業。卒業できなかったもののうち、3 人は休学中、1 人は退学、1 人は留年。進級判定者 64 人中 60 人が進級。進級できなかったもののうち、2 名は仮進級、1 名は転学部、1 名は留年。

2024 年度から、退学、留年の防止として以下のことを継続していく。

- 本年度から作成した「要フォロー対象学生一覧」を継続して作成し、毎月対象学生の出席状況等を把握し、教授会で情報共有する。

*数値の詳細は別紙

2. 各学年の学期 GPA

現行の教育課程表に基づく学位プログラムについて、年次・学期による GPA の大きな変動はない。4 年生の累積 GPA も (2022 年度との比較では分布が平準化しているもの) 概ね山形の分布をしている

3. 学修行動調査 (到達度調査) の回答結果

2023 年度卒業生の学修到達度調査結果によると、11 のルーブリックの項目の全項目で 2.6 以上の結果となった。その中でも「信頼を築く力」(2.9)、「協働する力」(2.9)、「目標に向けて成し遂げる力」(2.9) の 3 項目で高い結果を示した。

2024 年度から、学修行動調査 (到達度調査) 結果を活用し以下の取り組みを行う。

- 2~4 年生に対し 12 月に実施した本調査結果を個人ごとにレーダーチャート図にし、その年度の取得単位数及び累計 GPA とともにフィードバックする。それを基に、年度当初の担任 (キャンパスアドバイザー) との面談時に、相談しながら各学生が自分の新年度の学修目標及び計画を作成する。また 1 年生については、入学当初にルーブリックの 11 の項目について「入学時点の自己評価」を取り、それを 12 月に到達度として再度自己評価をし、その結果を次年度の学修目標や学修計画

作成に役立つ。

*数値の詳細は別紙

4. 各プログラムの修了者数

社会学部で開講している3つのプログラムに関して、地域政策プログラム7人、観光プログラム4人、社会調査プログラム1人のプログラム認定者が出た。

5. 社会調査士資格の取得者数

5年間における社会学部卒業生の社会調査士資格取得者数は、(表1)の通りである。学部生には、毎年4月のガイダンスにて調査士資格に関する説明をおこない、取得希望者を募っている。しかし、希望者は数人に留まっている。

2023年度に関しては、資格関連科目を履修し、単位を取得している学生は一定数確認されている。ただ、そのメインとなる社会調査実習(3年次配当)の単位を取得したものの、資格取得の手続きをおこなった4年生はいなかった。

これらの現状をふまえ、2024年度の資格取得者を増やすため、以下の3つの取り組みを実施する予定である。

- ①後期のガイダンス(9月)にて、再度、資格の説明をする
- ②社会調査士が活躍できる企業や職種を紹介する
- ③社会調査プログラムを希望している学生に対して、資格取得を勧める
- ④社会調査実習の科目担当者と連携し、3年次から社会調査士の資格取得を勧める

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
人数	4名	1名	0名	3名	0名

(表1) 社会学部生の社会調査士資格取得者数

6. 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得者数、国家試験受験者数、合格者数

2023年度は、社会福祉士国家試験合格者6名(昨年より3名増)、精神保健福祉士合格者4名(昨年より2名増)であった。(ダブル合格者は4名で昨年より3名増)

*数値の詳細は別紙

2024年度は国家試験受験対策委員会と連携し、さらに合格者を増やすために、以下のことに継続して取り組む。

○通い合宿

来年度は夏季休業中に5日間の日程で行う予定である。前期中に集中して勉強した共通科目の内、点数が伸びていない科目や、学生へのアンケート結果を反映させた科目選択をし、開講する。実習期間の重複や就職活動等で受験できなかった学生には後に開講時に配布した資料を配布し、自主勉強に繋げるよう指導する。

○全国统一模擬試験

国家試験受験希望者は全員受験するよう例年通り指導する。

○学内講座

来年度は開講科目や開講回数等、早期の段階から東京アカデミーと内容を検討し、学生のニーズに沿った学びやすい講座を提供していきたい。

○1年生対象勉強会

来年度は実施方法の改善や調べる際に使用する書籍の充実等、早期の段階から進めていきたい。また、1年生だけでなく各学年のガイダンス時など今年度の合格率や先輩の試験勉強への取り組み状況などを紹介し、「勉強すれば合格できる」と思ってもらえるような働きかけを積極的に行う。

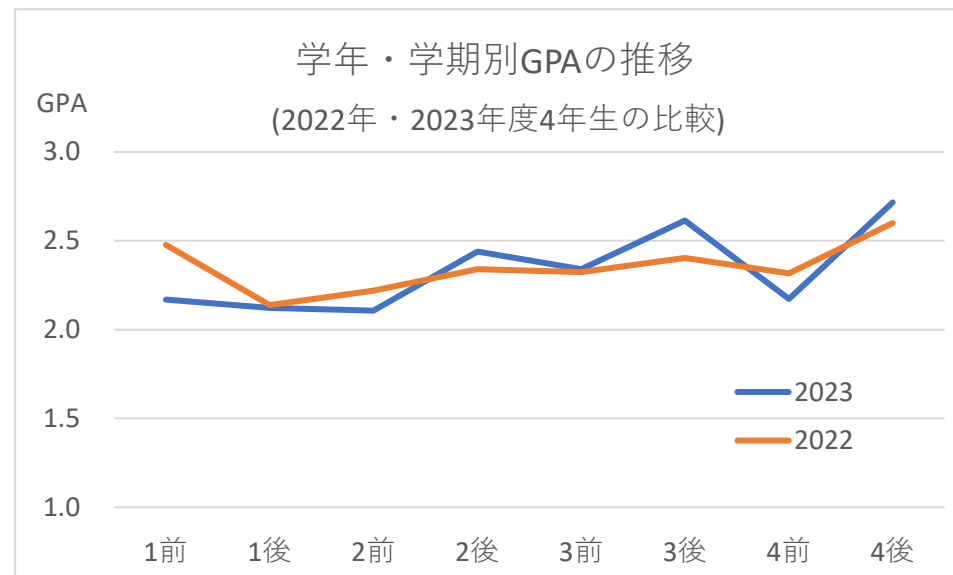
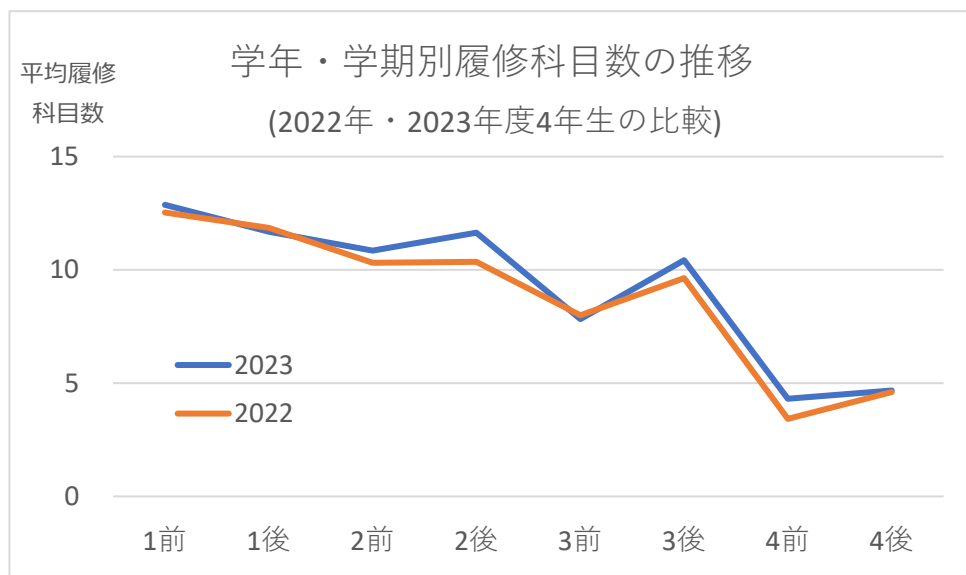
社会学部の卒業判定・進級判定の状況（2018～2023年度）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
卒業判定合格者	48人/49人中 (約98%)	45人/53人中 (約85%)	69人/74人中 (約93%)	67人/74人中 (約91%)	74人/79人中 (約94%)	57人/61人中 (約93%)
卒業判定不合格者の状況	留年した1人は次の年度の秋卒業した。	留年した8人のうち、4人はその後退学、4人は次年度卒業した。	留年した5人のうち、3人は退学、2人は次年度卒業した。	留年した7人のうち、2人はその後退学、4人は次年度卒業。1人は次年度も卒業保留となった。	3人留年	1人留年
					2人退学	3人休学中
						1人退学
進級判定合格者 (仮進級者は含めず)	72人/82人中 (約88%)	67人/91人中 (約74%)	70人/77人中 (約91%)	59人/66人中 (約89%)	62人/70人中 (約88.6%)	60人/64人中 (約94%)
進級判定不合格者の状況	1人仮進級	5人仮進級	2人仮進級	2人仮進級	6人仮進級	2人仮進級
	9人留年	12人留年	5人留年	5人留年	1人留年	2人留年
		4人退学				
		2人除籍				
		1人休学				
	9人のうち1人は卒業、6人がその後退学、2人が除籍		5人のうち、3人その後退学、1人は現3年生、1人は原級留置2年目)	5人のうち原級留置2年目が3人、2人退学		2人のうち1人転学部
根拠	2019年2月25日教授会議事録及び資料	2020年2月25日教授会議事録及び資料	2021年2月24日教授会議事録及び資料	2022年2月22日臨時教授会議事録及び資料	2023年3月9日教授会議事録及び資料	2024年3月6日教授会議事録及び資料

*原級留置規定改定

4年生の学年・学期別GPAの推移：2022年度と2023年度の比較

学年・期	【履修科目数】		【学期別GPA】		【学期別GPAの標準偏差】	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
1前	12.9	12.5	2.17	2.48	0.772	0.707
1後	11.7	11.9	2.12	2.14	0.820	0.705
2前	10.8	10.3	2.11	2.22	0.839	0.861
2後	11.6	10.4	2.44	2.34	0.851	0.872
3前	7.8	8.0	2.34	2.32	0.894	0.804
3後	10.4	9.6	2.61	2.40	0.867	0.924
4前	4.3	3.4	2.17	2.32	0.842	0.959
4後	4.7	4.6	2.72	2.60	1.000	1.099



累積GPAの分布

【設定】 階級幅 0.50

【度数分布表】

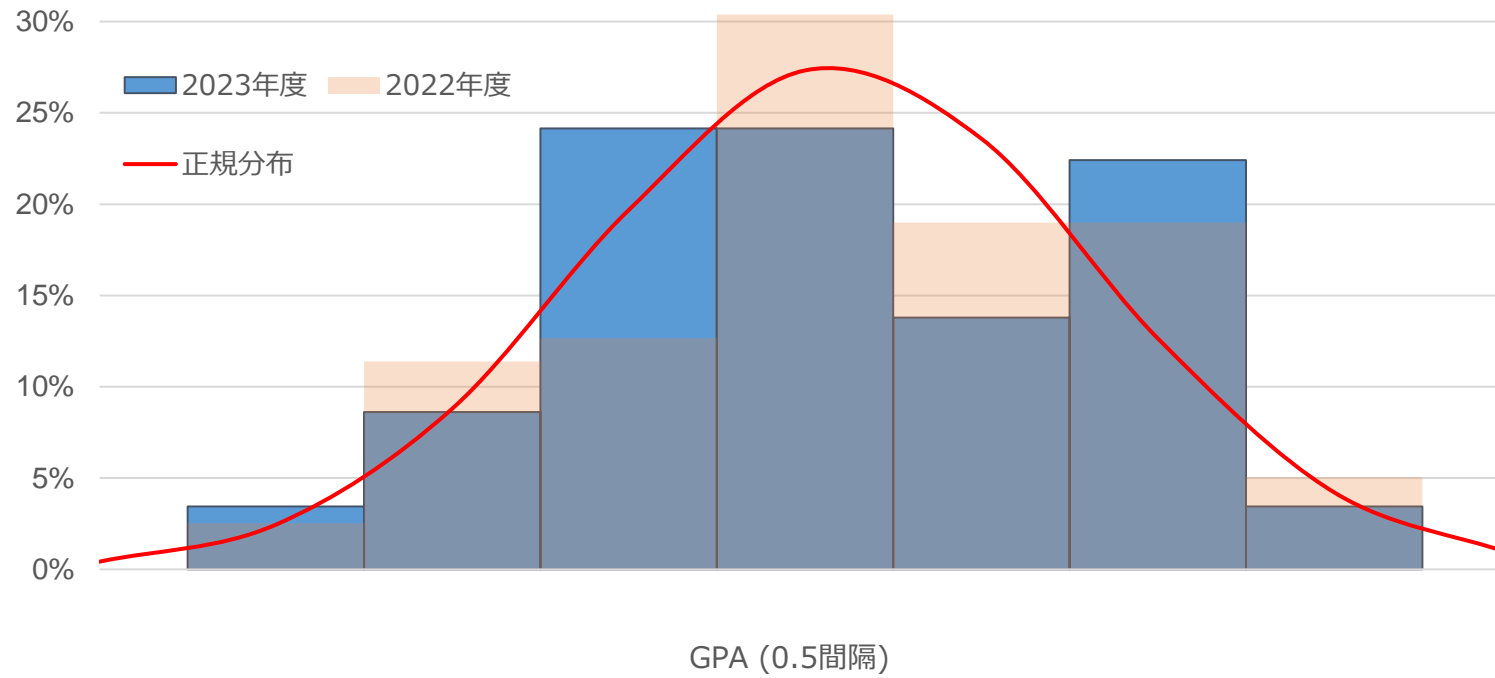
以上	未満	度数 2023	構成比		
			2023年度	2022年度	正規分布
0.0	0.5	0	0.0%	0.0%	0.4%
0.5	1.0	2	3.4%	2.5%	2.4%
1.0	1.5	5	8.6%	11.4%	8.8%
1.5	2.0	14	24.1%	12.7%	19.7%
2.0	2.5	14	24.1%	30.4%	27.3%
2.5	3.0	8	13.8%	19.0%	23.6%
3.0	3.5	13	22.4%	19.0%	12.7%
3.5	4.0	2	3.4%	5.1%	4.2%
4.0	4.5	0	0.0%	0.0%	0.9%
計		58	100.0%	100.0%	100.0%

【記述統計量】

統計量	2023年度	2022年度
人数	58	79
平均値	2.35	2.38
中央値	2.32	2.45
最頻値	2.25	2.25
最大値	3.69	3.77
最小値	0.70	0.78
上位25%値	2.99	2.91
下位25%値	1.79	1.93
分散	0.526	0.506
標準偏差	0.725	0.711
尖度	-0.083	-0.215
歪度	-0.708	-0.655

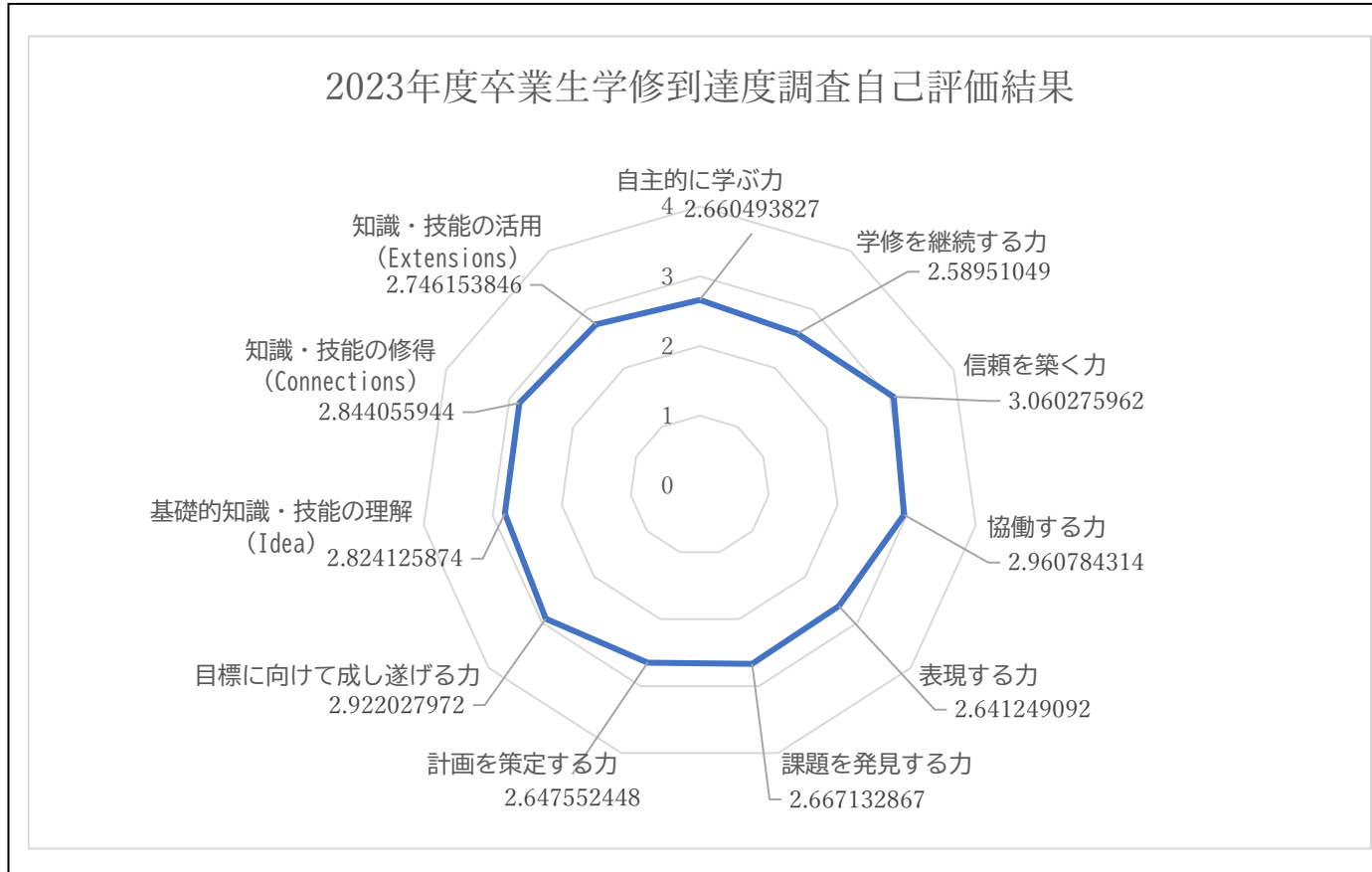
累積GPAの分布 (2023年度4年生)

構成比



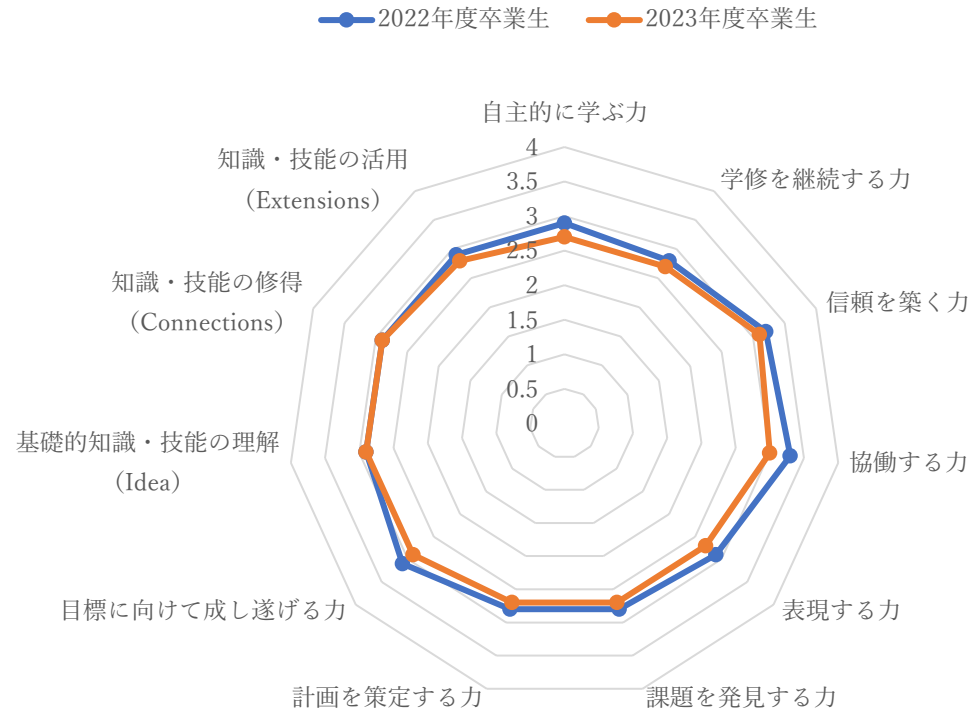
2023年度卒業生 学修到達度調査結果(ルーブリックへの自己評価の平均値)

回答者数 56名



2022年度との比較

卒業生学修到達度調査自己評価結果（全体平均）



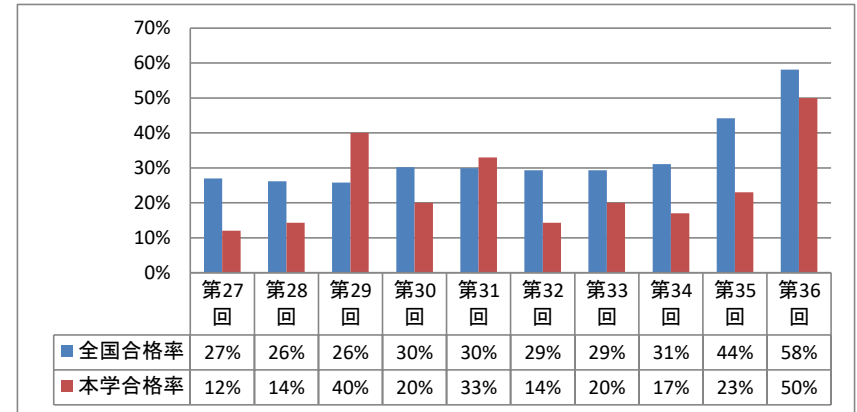
2023年度 福祉士国家試験結果

福祉士国家試験対策委員会

3月5日(火)14:00以降の合否結果内容(過去10年間の結果を含めて)。

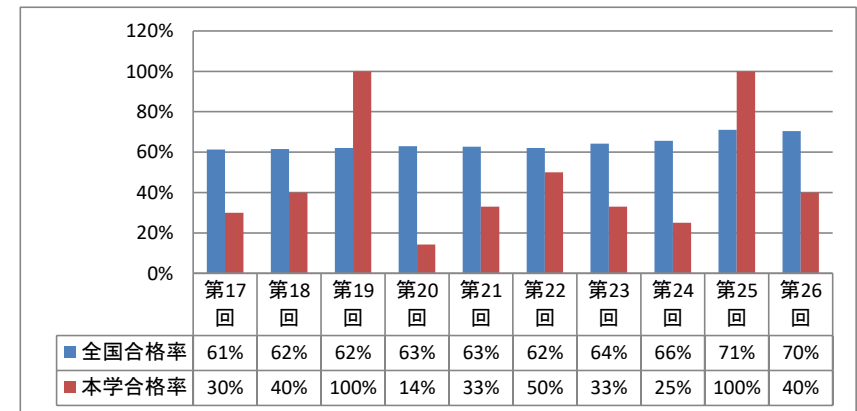
〈社会福祉士合格率〉

	H27年	H28年	H29年	H30年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
国家試験回数	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回
全国合格率	27%	26%	26%	30%	30%	29%	29%	31%	44%	58%
本学合格率	12%	14%	40%	20%	33%	14%	20%	17%	23%	50%
本学受験者数	25名	14名	10名	5名	9名	14名	5名	12名	13名	12名
本学合格者数	3名	2名	4名	1名	3名	2名	1名	2名	3名	6名



〈精神保健福祉士合格率〉

	H27年	H28年	H29年	H30年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
国家試験回数	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回
全国合格率	61%	62%	62%	63%	63%	62%	64%	66%	71%	70%
本学合格率	30%	40%	100%	14%	33%	50%	33%	25%	100%	40%
本学受験者数	10名	5名	2名	7名	3名	2名	6名	8名	2名	10名
本学合格者数	3名	2名	2名	1名	1名	1名	2名	2名	2名	4名



〈ダブル受験者合格率〉

受験者数8名、合格者4名、合格率50%